

# 新入社員に何を伝えるか

11年前までパナソニックエイジフリー(株)(介護事業)で16年勤務し、最後の仕事は人材育成部門を創設し、担当した2年半で約700人の職制別研修と新卒社員の入社時研修・フォローアップ研修を実施していました。

先日の私の誕生日に、Facebookで11年前の私の最後の仕事でもあった新卒社員研修に参加していた女性から、誕生日のメッセージに加えて「垣内さんの研修を受けた時、聞き入ってしまうくらい心に響いたのを覚えています。垣内さんのお話もっと聴きたかったなあと感じていました」との言葉を受け取りました。既に結婚し子育て中のママになっている方で、とても驚きとても嬉しく、同時にあの頃どんな思いで新卒社員に向けて言葉を発していたかなと振り返ってみました。



新卒社員の研修は、入社式のあと2週間(土日は休み)本社で実施していました。関東・中部・九州エリアから40人くらいの人数だったと思います。

カリキュラムの多くは介護技術、介護・医療の知識に関するものですが、私が担当したのは「社会人のマナー」「介護職としての接遇マナー」「メンタルヘルスケア」でした。また、研修担当として毎日研修に同席し、朝礼、研修の進行、研修後の伝達、等々お世話係をしていました。研修の講師は社内の方々の様々な部門の責任者クラスが担当し、その調整や資料の準備依頼、資料の印刷、毎日の受講アンケートの集約、アンケートに記載された新卒社員からの質問への回答を担当部門に依頼し翌朝までに準備、体調不良者への対応など、かなりハードな2週間でした。もちろん事前準備も大変でした。

この研修を実施するにあたり心に決めていたことは、この2週間の間に研修で伝えるだけでなく、社会人としてのマナーや振る舞いなどを具体的に学んでもらえるように、また今後の長い人生の中で悩んだ時に役に立つような話を先輩として伝えてあげようと思っていました。



一例ですが、研修中に風邪をひいて熱のある社員がいて隣に座っている人から、「〇〇さん、熱があるようです」と言ってきました。その時、本人はどうしても研修を受けたいのでこのまま受けさせてほしいと言ったのですが、「あなたのその気持ちはとても嬉しいです。でも熱がある状態で一日研修を受講すると、明日はもっと悪化しているかもしれません。そうすると、この後の研修をすべて欠席しないといけなくなるかもしれません。今日一日休んで、早く回復するようにしませんか?」と伝えた後、「今は研修中ですが、今後現場にはいつても同じようなことは起きます。そんなときに、今伝えたように判断し、早めに上司に連絡してください。上司も早めに連絡をもらえるとシフトの調整もしやすくなります。当日の朝になって体調不良で休みますと言われると、特に訪問入浴のように3人で訪問する仕事はシフト調整がとても大変です。」また「体調が悪い時は、自分で判断し、自分から報告をするようにしてください」などと、日々起きた出来事を題材に伝えるようにしていました。これは当事者本人だけでなく、その場にいる新卒社員全員へのメッセージとして意識的に伝えていました。

先に紹介した元新卒社員の方はどのような言葉が響いたのかはわかりませんが、私の思いが伝わっていたのだなど、11年ぶりにわかりもととても嬉しく思っています。

現在は介護・高齢者事業者様向けの研修のほかに、武庫川女子大学経営学部で「福祉経営論」の授業を担当させていただき今年も4月から授業がスタートします。

昨年から担当しているのですが、ここでも3年生の学生に対し授業の内容に加え、これから社会人になり生きていくにあたり、心の支えになりそうなことを毎回テキストの最終ページにコラムとして書いて伝えていきます。

